

家庭学習のてびき

帯広市立栄小学校
平成28年4月17日

～家庭学習の習慣化を目指して～

1学期が始まり、2週間が過ぎようとしています。学校での学習も本格的に始まり、これからは、確実に身に付けさせたい重要な学習内容が続いていきます。

さて、みなさんのお子さんは、春休み気分を払拭し、生活リズムを取り戻すことができましたでしょうか？まだ「家庭学習なんかしていない。」とか、「宿題しかやっていない。」などと言っているお子さんはいないでしょうか？

本校で、これまでの諸調査の結果を分析したところ、全国に比べて、やや「家庭での学習時間がかなり少ない」、「ゲームやテレビをやっている時間が長い」という実態が続いています。

学習内容については、まずは「学校で学ぶ」ということは、当然のことです。しかし本当の意味で「わかる」「できる」というレベルまで到達するためには、学校での学びだけでは不十分です。そのためにも、学習した内容を確実に定着させるには、家庭学習が必要不可欠となります。

そこで今回、改めて「家庭学習のてびき」を作成しました。家庭学習の充実をはかるための参考になさってください。

宿題とは？家庭学習とは？

学校（教師）が指示した内容を家庭で取り組む学習を「宿題」、子ども達が保護者の方と相談しながら、自分の課題を見つけ、自主的に家庭で取り組む学習を「家庭学習」と言います。



本校では、宿題にしっかり取り組んでいるお子さんが多いのですが、家庭学習については、あまり多くないのが現状です。その差は、まとめのテストなどで、大きく表れています。

家庭学習はなぜ必要か？～漢字や計算の学習を例にすると～

新出漢字について学習するのは学校ですが、学校の学習時間内で、完全に覚えきくことは難しいのが現状です。また、計算の考え方や解き方も、学校で学びますが、正確に解く、速く解くようになるには、たくさんの練習が必要です。ですから、学習した内容を確かな力にするためには、家庭学習が必要となるのです。

また宿題は、学習進路の確認を行うことや学年全体の弱点を補充することをねらい、教師が考え、出しています。ですから、その量や内容がすべてのお子さんにぴったりあっているとは限りません。

そこで、自分の実力やペースに応じて取り組める家庭学習が必要になるわけです。

具体的には

家庭学習はどのくらいやれば良いのか？

一般的には、「学年×10分+10分」が目安とされています。
(例えば、3年生であれば、3×10+10で40分以上です。)

宿題以外に、これくらいの、学習が望ましいです。
大変なように感じますが、国語20分と算数20分で40分になります。
そんなに難しくはありません。



どんな学習をすれば良いのか？



<低学年>

- ・国語の教科書や算数の教科書を音読します。
親が聞いてあげるとさらに良いです。
- ・文字や漢字を正しく書きます。
教科書を視写するのも良いことです。
- ・たし算、ひき算、かけ算(2年)の問題を解きます。
- ・順序よく話をします。
- ・決められた文字数で日記を書きます。
- ・ことば集めをします。

九九を完璧に覚えよう!!

予習より復習!

<中学年>

- ・国語の教科書の音読をします。
- ・漢字の読み書きをします。
- ・国語辞典を使っての言葉調べをします。
- ・かけ算やわり算の繰り返し練習をします。
- ・理科、社会は学習した内容を自分でまとめます。
(新聞作りなど)
- ・表やグラフを見てわかったことを書きます。
- ・問題集に取り組みます。

<高学年>

- ・国語の教科書の音読をします。
- ・漢字の読み書きをします。
- ・意味調べをします。(国語辞典を使います)
- ・計算問題や応用問題に取り組みます。
- ・教科書の問題を復習します。
- ・百ます計算に取り組みます。
- ・理科、社会は、授業のまとめや発展学習を行います。
- ・新聞を読んだり、ニュースを見たりします。

ワンポイントアドバイス

- ・保護者の方とお子さんで、相談して内容を決めましょう。
- ・やったままにしないでください。(丸付けをして間違いを直します)
～低学年は保護者の協力も重要!ぜひ見てあげてください。
- ・がんばったことを褒めてあげてください。
- ・規則正しく毎日こつこつとやるのが大切です。
- ・始めたら、途中で立ち歩かず、集中して取り組みます。
- ・日記や読書は、どの学年もお勧めです。

勉強が分かったと学校が
楽しくなります!!

